

2010年5月6日

各位

参天製薬株式会社

韓国にて緑内障・高眼圧症治療剤「TAFLOTAN®(タフロタン)」を発売

参天製薬株式会社(本社:大阪市、社長:黒川明、以後:参天製薬)は、100%子会社である韓国参天製薬株式会社(本社:ソウル市、以後:韓国参天)において、5月1日(現地時間)に、緑内障・高眼圧症治療剤である「TAFLOTAN(タフロタン)点眼液 0.0015%」(一般名:タフルプロスト)を発売しましたのでお知らせします。

「TAFLOTAN(タフロタン)点眼液 0.0015%」は、原薬の製造を旭硝子株式会社(東京都千代田区)が行い、参天製薬が製剤化し、開発を行ったプロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤で、韓国では2009年6月に製造販売承認を取得しておりました。このたび薬価収載手続きが完了し、発売の運びとなりました。

緑内障は、眼圧の上昇などによって視神経が障害され、視野欠損や失明を引き起こす病気であり、眼疾患による視覚障害(視力低下、失明)の主な原因となっています。潜在的な患者さんが多いと推定されており、早期発見および早期治療が今後ますます課題となっています。

「TAFLOTAN(タフロタン)点眼液 0.0015%」は、既存の緑内障薬剤と比べて、特徴あるプロスタグランジン製剤であり、これから韓国における緑内障治療の一端を担い、韓国の患者さんのQOL(生活の質)向上に貢献できることを期待しています。今回のタフロタンは、従来の代理店への販売委託方式と異なり、韓国参天自らがマーケティング/営業活動を展開することで参天のノウハウを活かした情報提供活動を行います。

現在タフルプロストは、今回の韓国を含め世界15カ国で販売されており、アジアでの発売は、日本・香港に続き、3カ国目となります。日本国内では、参天製薬が2008年12月より「タプロス」(日本におけるタフルプロストの商品名)を販売しています。

<概要>

開発コード/一般名:	DE-085/タフルプロスト
韓国内での商品名:	TAFLOTAN(タフロタン)点眼液 0.0015%
剤型	水性点眼剤
効能・効果	開放隅角緑内障、高眼圧症
用法・用量	1回1滴、1日1回点眼する
保存方法	室温保存

<韓国参天の概要>

社名: 韓国参天株式会社
英語表記: Santen Pharmaceutical Korea, Co., Ltd.
本社住所: 3F, Seocho G-WELL Tower,
1678-4, Seocho-dong, Seocho-gu,
Seoul 137-070, Republic of Korea
TEL: +82-2-754-1434 FAX: +82-2-754-2929
事業内容: 医薬品の輸入・販売
参天製薬の出資比率: 100%

以上

お問い合わせ先:

参天製薬株式会社 (証券コード: 4536)
コーポレート・コミュニケーショングループ(日比)
〒533-8651 大阪市東淀川区下新庄 3-9-19
TEL: 06-6321-9957 FAX: 06-6321-8400